

「2023 年上半期のベトナム経済状況」

中川 良一

2023 年は、世界的なインフレ状況やロシア・ウクライナの紛争などの影響により、ベトナム経済にも大きな影を落としています。この厳しい経済環境の中での、6 ヶ月間（上半期）のベトナム経済状況をレポートします。

＜低い成長率＞

2023 年上半期の GDP 成長率は 3.72%にとどまり、政府が目標とした 6.5%を大きく下回りました。これはコロナ禍でのロックダウンによる経済影響を受けた、2020 年上半期の経済成長率 1.77%に次ぎ、近年では二番目に低い成長率です。

アメリカ、EU 及びアジア地域数力国で構成されるベトナム主要経済パートナー国での需要の大幅な減少により、ベトナムの多くの分野に影響がありました。電子機器、履物、縫製、木材産業など全てにおいて大幅に取引が減少しています。過去 14 年間、製造業と加工産業は常にベトナムの経済成長の重要な原動力となっていました。現在は減少が続いています。

＜2023 年後半、成長シナリオ＞

計画投資省は 2023 年後半におけるベトナム経済について、二つの成長シナリオを発表しました。

- ・シナリオ 1：第 3 四半期 6.8%、第 4 四半期 9%、年間 6%の成長率。
- ・シナリオ 2：第 3 四半期 7.4%、第 4 四半期 10.3%、年間 6.5%の成長率。

しかし政府目標の 6.5%を達成するためには、後半 6 ヶ月で GDP 成長率 8~8.9%に達する必要がある、現実的に達成は難しい状況となっています。

＜輸出状況＞

物品輸出額は 1,644.5 億 US ドルで、前年同期比で 12.1%減少しています。携帯電話とその部品、電子機器、コンピューターとその部品、機械設備、その他治具、縫製品、履物など、ほとんど全ての製品において減少しています。輸出額の主な減少理由は次のとおりです。

- ・世界の総需要の減少とともに、インフレと高金利による影響。特に米国、韓国、EU などベトナムの主要パートナー市場の景気後退。
- ・輸出入品の価格下落。

・ベトナムの物流コストの高止まりと環境対策などの遅れによるベトナム製品の競争力低下。

なお、唯一農業分野だけは、ベトナムにおいて力強い経済基盤となっています。2023 年上半期では、4.27 トンの米を輸出し、過去 13 年間で最高となる輸出額 23 億 US ドルを達成しています。

＜期待される観光産業＞

海外からの訪問者については、2016 年から 2019 年まで上半期は絶えず増加していました。2016 年の上半期 470 万 6,300 人から、2019 年の上半期 848 万 1,000 人へ急速に増加しましたが、コロナ禍により 2020 年から減少に転じ、2020 年上半期は 374 万 4,500 人、その後入国制限となり 2022 年上半期では 60 万 2,000 人まで落ち込みましたが、本年上半期は 557 万 5,000 人まで回復してきています。

観光産業を主要経済分野に位置付け、また投資家による市場調査を容易にするため、ベトナム政府は出入国法を改正しました。e ビザは有効期限が 30 日から 90 日に延長され、複数回の入国が可能となりました。またビザ免除国に対しては、ノービザによる一時滞在期間を 15 日から 45 日に大幅に延長しました。

2023 年はベトナムにとっても大変苦しい経済環境となっていますが、農業分野、そして入国条件が緩和された観光産業が牽引役となり、早期改善することが期待されます。

2011年から2023年上半期のGDP成長率

